



# 校長室だより

令和6年度

9月9日

NO. 23

## 「水と炎とぼくたち cooperation & enjoy」秦梨っ子の挑戦!



九月とはいえ残暑厳しく、自然の家のセミにはまだ秋の訪れの便りが届いていないのか、いつもの大合唱が流れていました。それでも、山の朝は、いつもの秦梨の朝と違い、涼しい秋を感じさせる朝でした。いつも見ている須淵の山ですが、いつもと違う、秦梨小学校の「山の学習」が三、四日に行われました。

自然の家にとっても、台風明けで、市内でも二学期最初の学校ということもあり、普段感じるこのこない、いつもと違う「自然」と、子供たちは向き合いました。まだ少し湿つてとても滑りやすい落ち葉スキーは、子供にとって「挑戦」でした。また、前日までの台風で水量も多く、「川岸が変わっちゃった」というカヌー場でのカヌー体験も、普段では到底味わえないような体験でした。（事前に準備・確認をし）安全面でもしっかりと気を付けて行いましたが、これまで体験したことのない、そして未知の出来事に、子供たちは勇気を出して取り組み、楽しさや自信を手にしました。初めての出来事に挑戦する気持ちは、未知や不安に立ち向かっていく気持ちに似ています。川底を、一步一步自分の足で踏みしめながら進んでいく気持ちや、スピードが出る中、転ばないように意識を研ぎ澄ませる気持ちは、何が起こるか分からない将来に立ち向かう気持ちにも通じます。

ずっと仲間と一緒に生活する活動も、普段では味わえない体験です。食事もキャンプファイヤーも、お風呂に入るのも、慣れないテントの中で寝るのも、いつも誰かと一緒に、これも、普段ではありません。いつも誰かと一緒にいることは、いつでも誰かに頼れる半面、仲間に迷惑をかけないよう、いつも自分で自分のことを考えていなければならぬことでもあります。

大人はつい手を出したくなりますが、子供だけでやり遂げる経験、それが「生きる力」につながっていくのだと考えます。

・「山の学習」までの健康管理及び準備、キャンプファイヤーの応援、並びにカヌー体験での監視やご支援、様々な面で保護者の方に感謝いたします。ご協力ありがとうございました。